富田林市プレミアム付商品券事業
「買ってお得！地域のお店・事業者応援商品券」実績に関する報告書

概要版

1．事業概要

目的

新型コロナウイルス感染症の拡大により深刻な影響を受ける地域事業者及び市民の生活を支援するため、本市内に所存する商店等において共通して利用できるプレミアム付商品券を発行することにより、地域における消費を喚起し、もって地域経済の活性化を図ること。

名称

買ってお得！地域のお店・事業者応援商品券
（1冊5,000円分を2,000円で販売【500円×10枚】）

対象者

110,000人（1人1冊まで）
- ・令和3年7月31日時点で住民基本台帳に記載された全市民
- ・令和3年10月31日までの転入・出生手続き対象者

期間

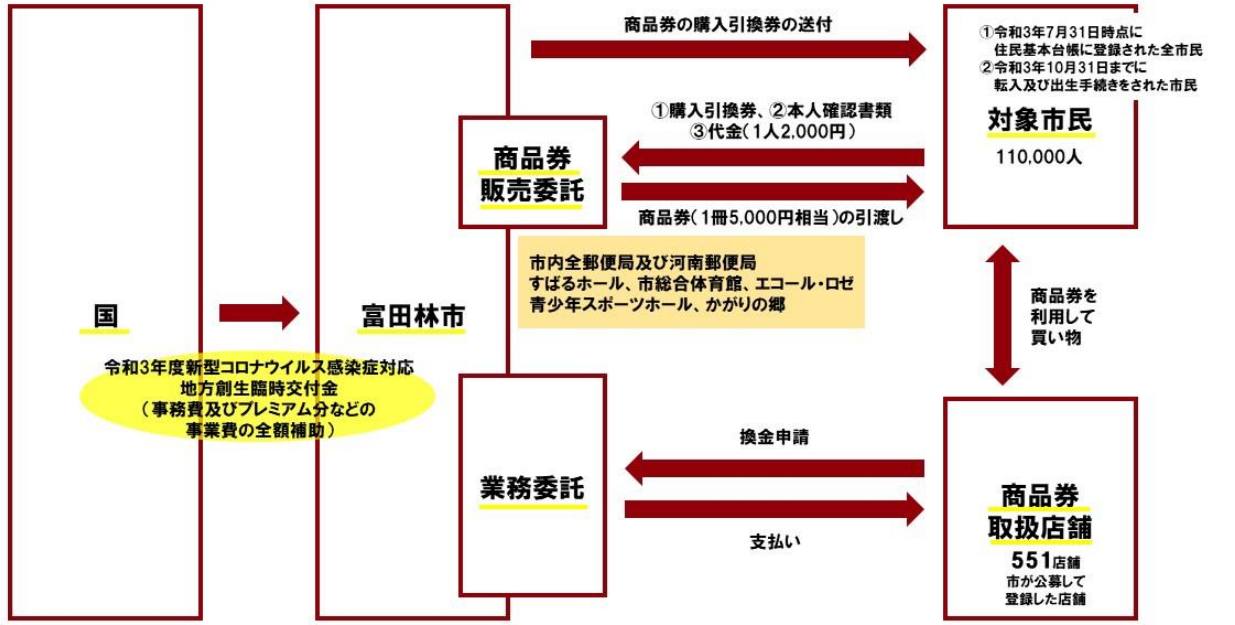
①購入引換券郵送
- ▶ 令和3年8月16日より順次送付

②商品券販売期間（当初予定より期間変更）
- ▶ 令和3年10月1日から12月12日まで

③商品券利用期間（当初予定より期間変更）
- ▶ 令和3年10月1日から12月31日まで

※本事業の全体イメージは、右図をご参照ください。

富田林市プレミアム付商品券事業の実施イメージ

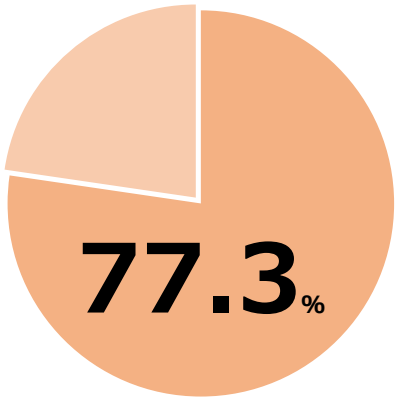


富田林市プレミアム付商品券事業
「買ってお得！地域のお店・事業者応援商品券」実績に関する報告書

概要版

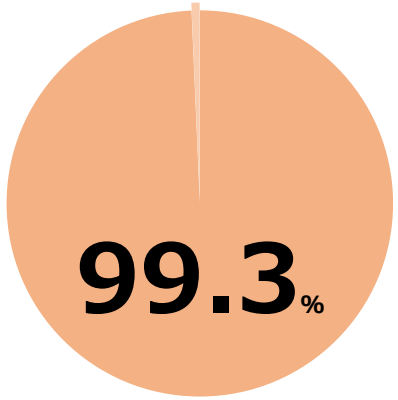
2．事業実績

商品券販売率



85,050冊/110,000冊

商品券流通金額に対する利用率

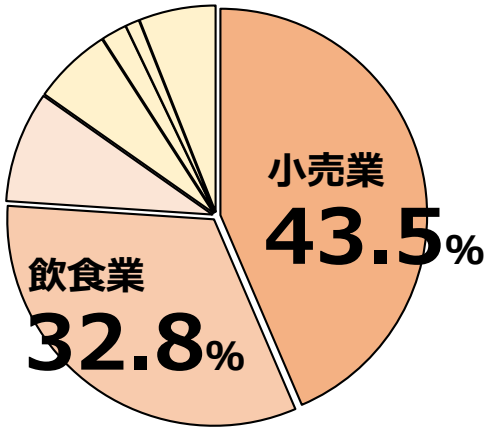


422,332,000円/425,250,000円

商品券取扱店舗登録状況（業種別）	
小売業	240
飲食業	179
サービス業	48
理容・美容業	34
薬局	11
医院・歯科医院	6
その他	33
合計	**551**

【参考：過去の商品券事業取扱店舗数】
令和元年度商品券事業306店舗、平成27年度商品券事業449店舗

商品券取扱店舗（業種別）



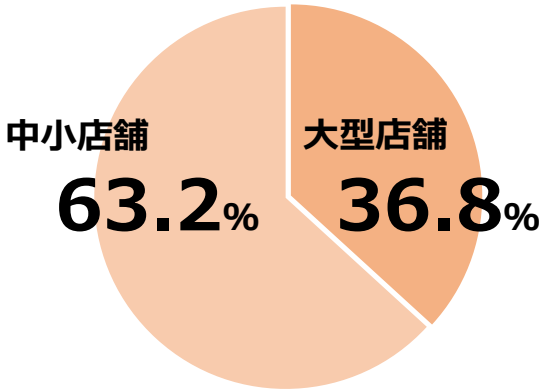
- ◆ 購入された商品券の総額は、4億2,525万円でした。商品券購入引換券が送付された者全員が満額5,000円分の商品券を購入していた場合、その発行総額は5億5,000万円であるが、実際に購入された割合は、金額ベースで77.3%でした。
- ◆ 購入された商品券のうち、実際に店舗で利用されたのは4億2,233.2万円、購入額4億2,525万円に対する利用率は99.3%となりました。
- ◆ 商品券取扱店舗の最終登録店舗数は、551店舗でした。令和元年度商品券事業306店舗、平成27年度商品券事業449店舗と比較しても、過去最高の店舗参加数だったことがわかります。

富田林市プレミアム付商品券事業
「買ってお得！地域のお店・事業者応援商品券」実績に関する報告書

概要版

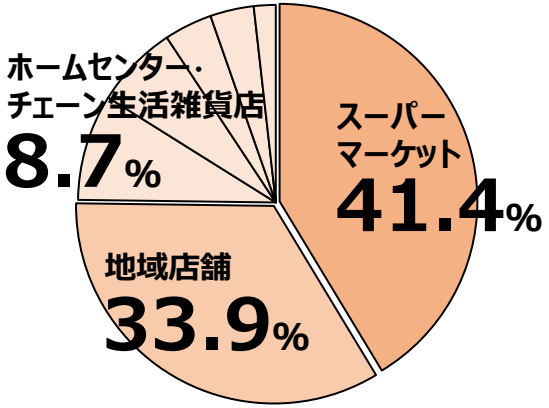
2．事業実績

商品券の利用率（区分別）

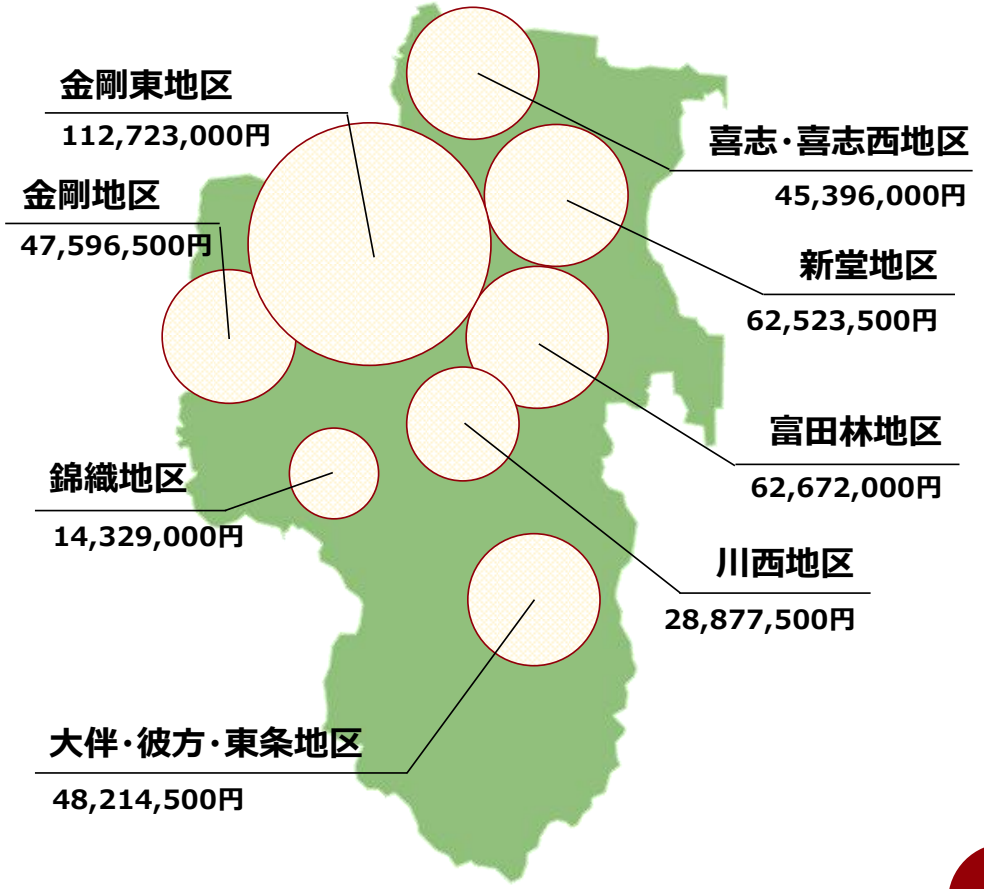


中小店舗 266,942,000円/ 大型店舗 155,390,000円

商品券の利用率（業態別）



大手チェーン飲食店6.8%、チェーンドラッグストア3.9%、
コンビニエンスストア3.6%、チェーン家電量販店1.8%



- 商品券の利用を店舗区分別で分析すると、中小店舗63.2%・大型店舗36.8%と、<u>中小店舗にて多く利用</u>されました。
- 商品券の利用を業態別で分析すると、<u>スーパーマーケットで40%以上利用</u>されていました。
- 商品券の利用エリアを分析すると、商業施設や飲食店が集中する地区での利用が多いことがわかりました。

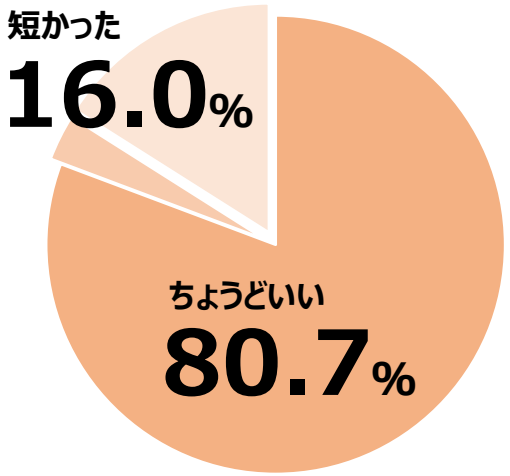
富田林市プレミアム付商品券事業
「買ってお得！地域のお店・事業者応援商品券」実績に関する報告書

概要版

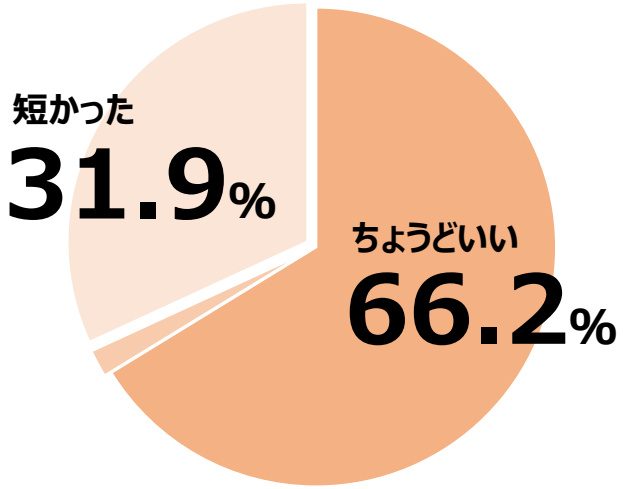
3．市民アンケート結果（抜粋）

▼調査概要
調査対象：本商品券事業の利用対象者
サンプル数：1,380件
調査方法：WEBアンケートフォームへ入力、アンケート用紙の提出

商品券の販売期間



商品券の利用期間



商品券の販売期間は、新型コロナウイルス感染症対策として販売期間を約1ヶ月短くなりましたが、約80%が「ちょうどいい」でした。商品券購入者の約85%が10月中に購入しており、販売期間は適切であったことがわかります。

商品券の販売期間は、およそ3人に1人が「短かった」という回答でした。

・商品券の購入場所もたくさんあり、使えるお店も本当にたくさんで、利用期間もちょうどいい期間だった。
・販売開始が延長されて遅くなったので、利用終了日も延ばしてほしかった。
・コロナ禍で仕方がなかったとは思いますが、何度も延期になったことはもう少しなんとかならなかったかと思います。

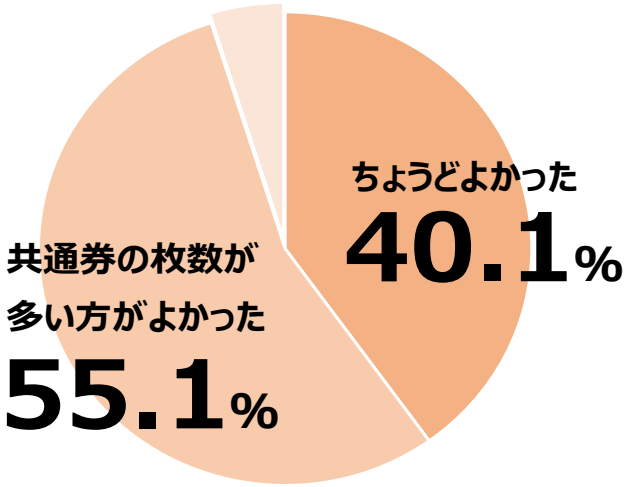
富田林市プレミアム付商品券事業
「買ってお得！地域のお店・事業者応援商品券」実績に関する報告書

概要版

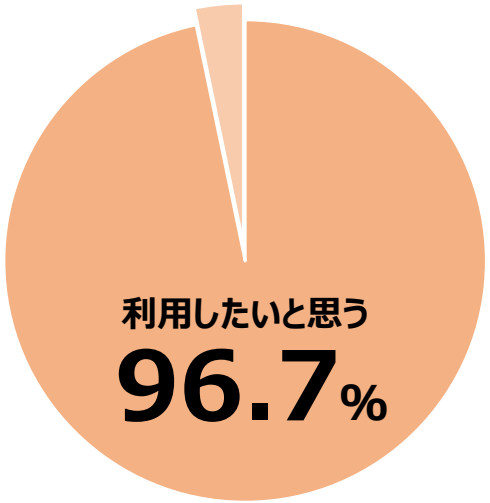
3．市民アンケート結果（抜粋）

▼調査概要
調査対象：本商品券事業の利用対象者
サンプル数：1,380件
調査方法：WEBアンケートフォームへ入力、アンケート用紙の提出

商品券の枚数構成



今後も商品券事業が同様に実施される場合の利用意向



商品券の枚数構成は、約55%が「共通券の枚数が多い方がよかった」でした。アンケートの自由記述において「共通券と中小店舗専用券をなくしてほしい」という声も多く、回答の真意としては「どこでも使える商品券」を希望する人が多いことが想定できます。

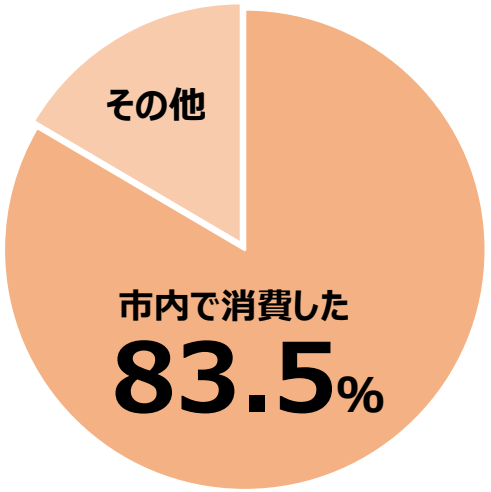
今後も商品券事業が同様に実施される場合の利用意向は、約97%が「利用したいと思う」でした。全年代で共通して利用意向が高い結果となりました。

・共通券と中小店舗専用券と区別されると使いにくい。使える店と使えない店があるので、商品券を消費するのに時間がかかった。
・できれば、どのお店でも使用できる共通券へ統一してほしい。
・また是非やって頂きたいです。もっとお店の数も増えるといいなと思いました。

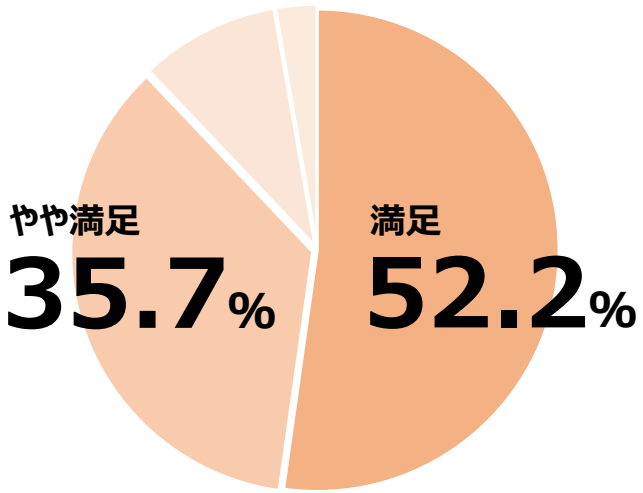
3．市民アンケート結果（抜粋）

▼調査概要
調査対象：本商品券事業の利用対象者
サンプル数：1,380件
調査方法：WEBアンケートフォームへ入力、アンケート用紙の提出

富田林市外で消費していたものを、富田林市内で消費すること



本商品券の満足度



普段富田林市外で消費していたものを富田林市内で消費することについては、80%以上が「市内で消費した」であり、地域経済の循環に寄与できていることがわかりました。

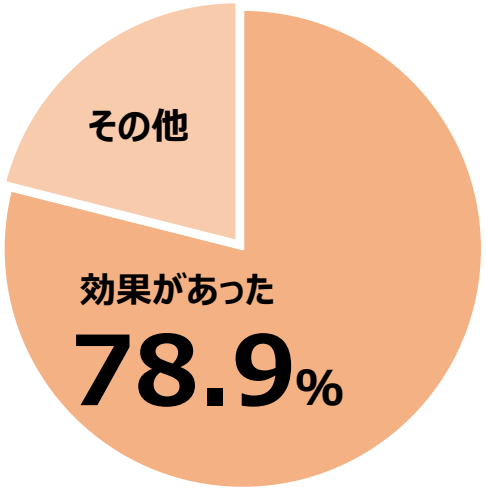
本商品券の満足度は、「満足」と「やや満足」を合わせると約90%でした。そのうち、満足度における「満足」の回答は52.2%にとどまりました。商品券事業に対する利用意向はかなり高いが、商品券事業の実施方法（期間、区分、購入方法など）や周知方法で満足されていないという傾向をみることができました。

・普段は羽曳野市や堺市美原区で利用するサービスを、商品券のおかげで富田林市で利用するきっかけになりました。
・商品券はやはり経済を回すことに役立っていると実感した。
・商品券の種類と使える店を考えて持ち歩くのが面倒だった。

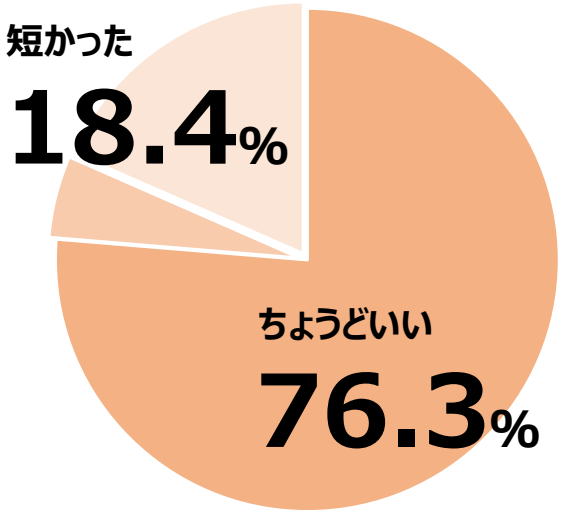
４．店舗アンケート結果（抜粋）

▼調査概要
調査対象：本商品券取扱店551店舗
サンプル数：190件
調査方法：WEBアンケートフォームへ入力、アンケート用紙の提出

商品券事業による効果



商品券の利用期間



商品券事業による効果は、約79%が「効果があった」でした。商品券事業による効果はなかったと回答した店舗においては、来客数及び売上についても「変わらない」との回答がほとんどでした。

商品券の販売期間は、75%以上が「ちょうどいい」でした。その反面、約20%が「短かった」という回答でした。

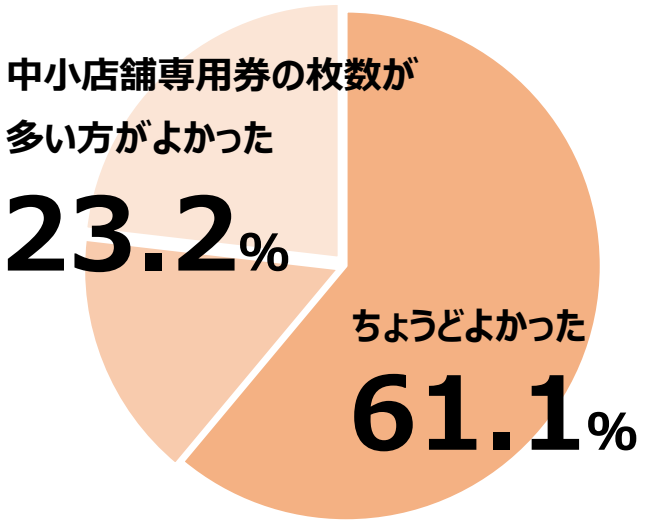
・年末まで使えたのでお正月の準備するものやお店のおせち料理などに使えたのが良かったと思います。期間もちょうど良かったと思います。

富田林市プレミアム付商品券事業
「買ってお得！地域のお店・事業者応援商品券」実績に関する報告書

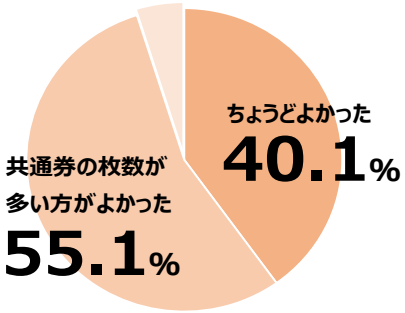
概要版

4．店舗アンケート結果（抜粋）

商品券の枚数構成



【参考】
市民アンケートの
結果



▼調査概要
調査対象：本商品券取扱店551店舗
サンプル数：190件
調査方法：WEBアンケートフォームへ入力、アンケート用紙の提出

商品券の枚数構成は、60%以上が「ちょうどよかった」でした。市民アンケートにおいて、「共通券の枚数が多い方がよかった」が約55%の回答を占め、店舗アンケートの回答結果である約15%と大きくギャップが生まれた結果となりました。

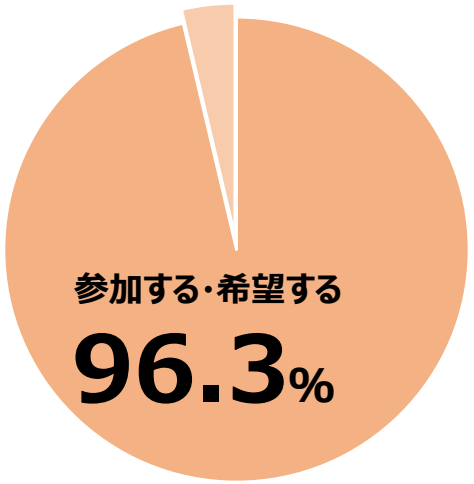
	市民アンケート	店舗アンケート
ちょうどよかった	40.1%	61.1%
共通券枚数多い希望	55.1%	15.7%
中小店舗専用券枚数多い希望	4.9%	23.2%

自由意見抜粋

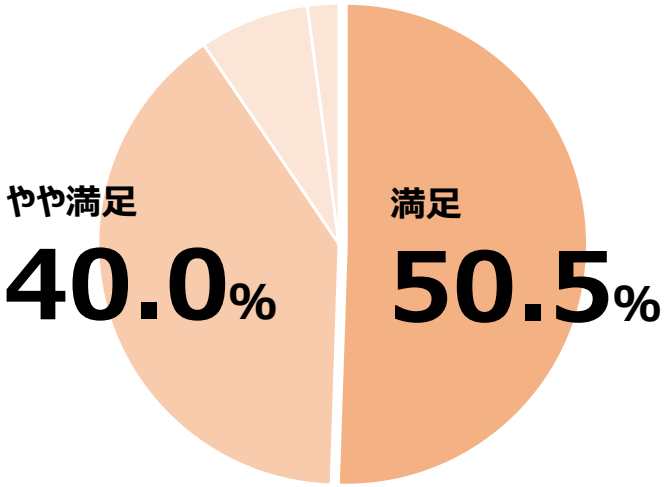
・大店舗と中小店舗の区分の仕方が微妙です。多数の店舗フランチャイズを含むは、大店舗でなければ、個人商店は全然意味がない。また、スーパーと個人飲食店を分けるべきだと思います。
・中小店舗専用券が使えるお店が少なかったおかげか、使えるところを探したと言ってきてくださるお客様も多かったように思います。なので、うちは売上につながり助かりました。

4．店舗アンケート結果（抜粋）

今後も商品券事業が同様に実施される場合の参加意向



本商品券の満足度



▼調査概要
調査対象：本商品券取扱店551店舗
サンプル数：190件
調査方法：WEBアンケートフォームへ入力、アンケート用紙の提出

今後、プレミアム付商品券事業が同様に実施される場合の参加意向は、約97%が「参加する・希望する」でした。全業種で共通して利用意向が高い結果となりました。

本商品券の満足度は、「満足」と「やや満足」を合わせると約90%でした。そのうち、満足度における「満足」の回答は50.5%にとどまりました。商品券事業に対する参加意向はかなり高いが、商品券事業の実施方法（期間、区分、利用方法など）や周知方法で満足されていないという傾向をみることができました。

・市民にとっても店舗にしても有益な制度でした。
・一人一冊じゃなく2～3冊ぐらいだとなお助かります。
・市役所の係の方の対応も親切で丁寧でした。ありがとうございました。次回も参加したいのでよろしくお願いします。

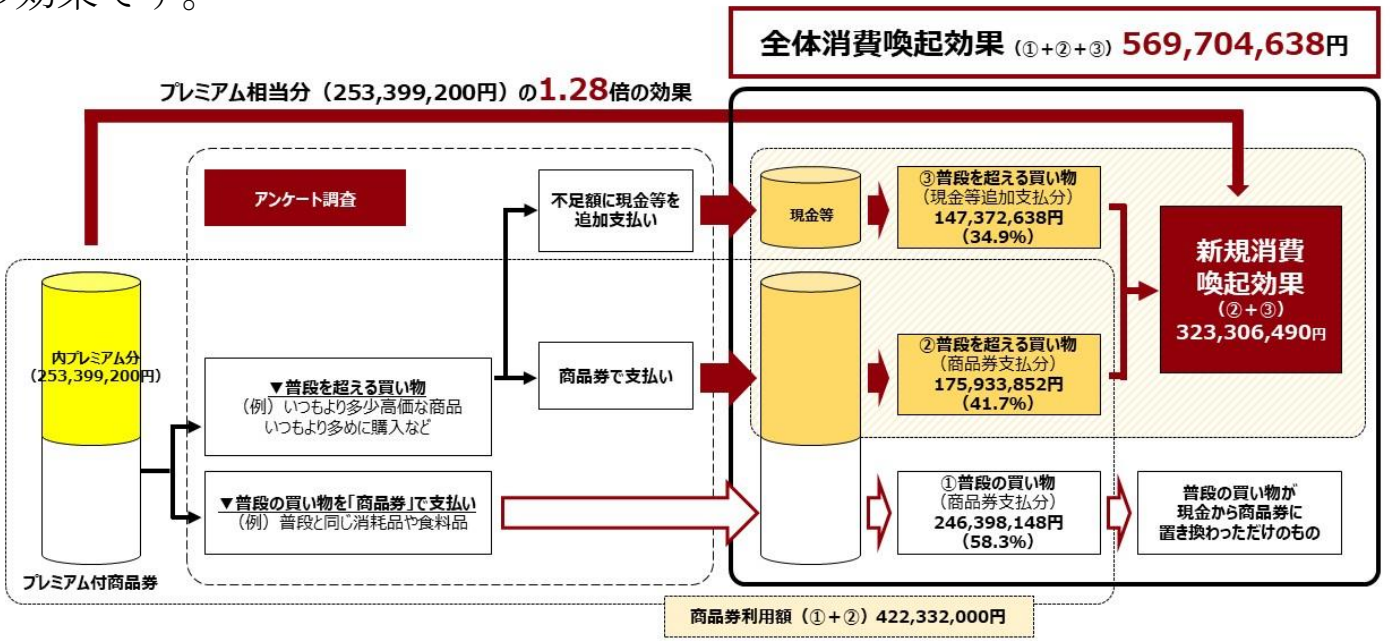
富田林市プレミアム付商品券事業
「買ってお得！地域のお店・事業者応援商品券」実績に関する報告書

概要版

5．事業の効果検証（新規消費喚起効果額）

本事業による市内全体への新規消費喚起効果を検証するために、市民アンケート調査（回答件数1,380）を実施しました。アンケート結果を基に全体の消費傾向を推計した結果、本事業に関連する全体の消費額は約5.70億円であり、そのうち、商品券により喚起された「普段と異なる買い物」や「普段を超える買い物」の合計である新規消費喚起効果額は、約3.23億円であることが分かりました。これは、プレミアム相当分総額（2.53億円）の1.28倍の効果です。

項目	金額
①普段の買い物【商品券】 （普段の買い物への商品券支払額）	246,398,148円（58.3%）
②普段を超える買い物【商品券】 （普段を超える買い物への商品券支払額）	175,933,852円（41.7%）
③普段を超える買い物【追加現金等】 （②の買い物時の不足額に対する現金等追加額）	147,372,638円（34.9%）
全体消費額（①＋②＋③） （商品券事業に関連する全体の消費額）	**569,704,638円**
全体消費額のうち、新規消費喚起効果額（②＋③） （商品券により新たに喚起された買い物総額）	**323,306,490円**
プレミアム相当分に対する新規喚起効果 （新規消費喚起効果額/プレミアム相当分）	**1.28倍**
（参考）プレミアム相当分	253,399,200円

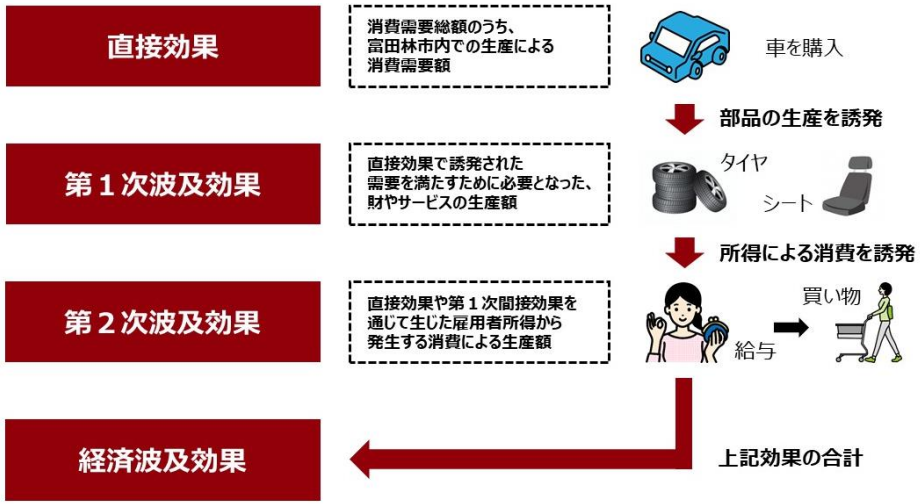


他自治体や内閣府の効果検証方法を参考に「新規消費喚起効果額」及び「経済波及効果額」を算出

5．事業の効果検証（経済波及効果額）

本事業に伴う需要増加により誘発された生産活動や原材料の生産など、市内産業全体への効果を検証するために、大阪府の産業連関表を用いて経済波及効果を算出した結果、事業全体の経済波及効果は約5.78億円であることが分かりました。

▼経済波及効果のイメージ



▼本商品券事業の経済波及効果

項目	金額
直接効果額	4.02億円
第１次波及効果額	1.00億円
第２次波及効果額	0.77億円
事業全体の経済波及効果額	**5.78億円**

※本経済波及効果額は、大阪府産業連関表「【簡易版】経済波及効果推計ツール（2015年基本表,37部門）」を用いて算出したものです。
※同経済波及効果推計ツールの計算で用いられる「民間消費支出」の比率は、大阪府民の平均的な支出比率として取り扱うものです。
※四捨五入の関係で、合計が一致しない箇所があります。

他自治体や内閣府の効果検証方法を参考に「新規消費喚起効果額」及び「経済波及効果額」を算出